記者発表資料

令和2年11月19日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所

「蔵王山火山噴火を想定した対応訓練」の実施について

新庄河川事務所と宮城県並びに山形県では、蔵王山の噴火に備えて、迅速かつ適確な火山防災対策が図れるよう、関係機関とともに蔵王山火山噴火を想定した対応訓練を実施します。

本訓練では蔵王山が噴火した場合を想定して、土砂災害に対応する避難の行動や情報伝達等の訓練を災害図上訓練で実施します。

1. 演習日時　令和2年11月26日(木)午後1時30分～午後3時30分

2. 実施場所　蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)

3. 参加機関　仙台管区気象台、山形地方気象台、宮城県、白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町宮城県警察本部、仙南地域広域行政事務組合消防本部、山形県、山形市、上山市、山形県警察本部、山形市消防本部、上山市消防本部・消防署、陸上自衛隊、東北地方整備局、仙台河川国道事務所、新庄河川事務所

4. 参 加 者　約50人

5. 訓練内容　○被害想定は、夏季(8月下旬)に蔵王山での火山活動の高まりが観測されたことから、火口周辺への影響が想定される。噴火警戒レベルが2に引き上げられ、小規模な噴火や噴火警戒レベル3相当への引き上げとし、随時付与される情報に基づき各機関が、避難計画や減災計画の内容を確認しながら、対応や行動を共有・理解出来るよう討論型図上訓練により、火山防災対応について確認を行います。

※　当日の気象状況等により、訓練を中止する場合があります。

※　会場には報道関係者席を用意しています。

※　新型コロナウィルス感染拡大防止の為、会場への入場は関係者及び報道関係者に限らせていただきます。

＜発表記者先：宮城県政記者会、山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会＞

【問い合わせ先】
＜国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所＞
山形県新庄市小田島町5－55　TEL:0233－22－0251(代表)
副所長(砂防)　木村 晃(きむら あきら)　(内線205)
調 査 課 長　酒井 公(さかい こう)　(内線351)

■スケジュール

13：30～13：35	開会・挨拶
13：35～13：45	訓練の進め方の確認
13：45～14：55	**状況付与に基づく討論型図上訓練**
14：55～15：10	振り返り
15：10～15：30	閉会

■訓練方法

災害図上訓練は、以下の３ステップを実施する。

●ステップ１：状況付与

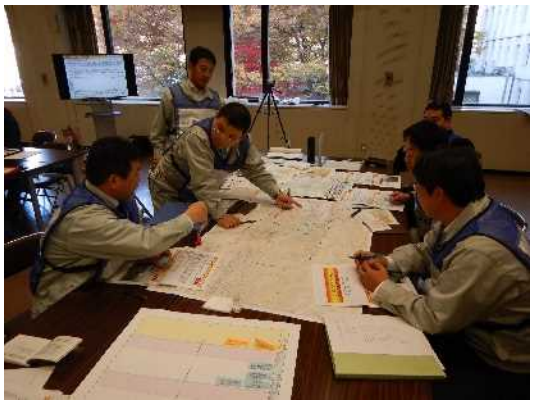
・進行者からパワーポイントや配布資料により火山活動の局面について状況の説明を行う。
・情報は訓練上の仮想の時間進行に伴い随時付与する。

●ステップ２：対応行動の検討（グループ討議）

・プレイヤーは付与された状況の下での対応行動を作業台に行動リスト（シール）から選択し、選び取った行動を行動記入シートに時系列に貼る。
・他機関への問い合わせを必要とする行動は情報伝達カードを使って連絡する。

●ステップ３：結果の振り返り

・結果の振り返りは、訓練当日には実施せず、後日アンケート形式で行う。
・訓練当日の結果を参加者に送付し、それをもとに訓練の課題や気付き等を回答してもらう。



【グループ内討議】



【討議内容の発表】

参考写真：平成 30 年 11 月 12 日　山形県庁において１６機関が参加した
「蔵王山火山噴火を想定した対応訓練」状況